

# 次世代のエネルギー活用へ SAF協定を締結



市は持続可能な社会の構築にむけ、国内で唯一、調理などで使い終わった廃食用油を原料とする持続可能な航空燃料(SAF)を製造している合同会社サファイアスカイエナジー、SAF製造の工程を管理している日揮ホールディングス株式会社(写真左)およびSAF製造の原材料となる廃食用油の回収業務を行う株式会社レポインターナショナル(写真右)の3社と協定を締結しました。

## ☑ SAFってなに?

SAF(サフ)とは、「持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)」の略称です。  
 廃食油、植物などを原料とし、従来の化石燃料由来のジェット燃料と比べて、CO<sub>2</sub>排出量を約60~80%削減できる環境に優しい燃料です。航空業界の脱炭素化に向けた切り札として期待されています。



## ☑ 使用済油が燃料になる!?

給食センターで発生する使用済み廃食用油に加えて、今まで焼却処理などで処分していた各家庭の廃食用油を美来の森で回収し、SAFの原料に利用することにより再資源化を行います。

▼連携協定スキーム(廃食用油の流れ)



👍 美来の森 廃食用油回収について  
 平日および日曜日の14:00~16:00  
 ※ペットボトルなどの廃食用油が見える容器に入れてください

日揮ホールディングス株式会社が提唱する「FRY to FLY Project」に参加し、廃棄食用油を100%原料とする国産SAFで航空機が飛ぶ世界を目指すとともに、従来の航空燃料と比較してCO<sub>2</sub>排出量を約80%削減し、資源循環と脱炭素に貢献する活動に取り組んでいきます。



問 環境課 ☎327-4127